

■-----  
【JST】日本社会心理学会第 61 回大会／科学技術振興機構（JST）

共催ワークショップ「人・社会・科学技術のあるべき関係を求めて：ELSI  
研究と社会心理学」

-----■  
【日時】2020 年 11 月 8 日（日）10:30～12:00

【方法】オンライン開催（Zoom ウェビナー）

【参加費】無料（定員 100 名）

【参加申込】11 月 7 日（土）17:00 までに以下 URL にてお申し込みください。

<https://form.jst.go.jp/enquetes/elsi-ws-20201108>

※日本社会心理学会第 61 回大会参加者の方は、参加申込は不要です。

大会ヘルプデスクからの開催案内に従ってご参加ください。

【登壇】

企画・司会：唐沢かおり（東京大学 大学院人文社会学系研究科 教授）

話題提供：唐沢かおり

小林傳司（大阪大学 名誉教授）

濱田志穂（科学技術振興機構 社会技術研究開発センター）

指定討論者：浦光博（追手門学院大学 心理学部心理学科 教授）

戸田山和久（名古屋大学 大学院情報学研究科 教授）

【概要】

科学技術の進展は、人と社会のあり方に大きな影響を与えています。新しい知や恩恵をもたらし、豊かな社会を実現することに貢献してきた一方で、人類の歴史にとって不可逆的な破壊をもたらす可能性も論じられています。

そのような中、ELSI（Ethical, Legal, and Social Issues/Implications）や RRI（Responsible Research and Innovation）というキーワードのもと、産・学・官の各レベルで学際的な議論を進める必要が認識され、研究開発プログラムや、そのことを専門的に論じる人材育成拠点も出来つつあります。

人と社会との関係を論じてきた社会心理学は、このような動向に大きな貢献をなし得るポテンシャルを持ち、他分野からの期待も大きいと言えます。しかし、ELSI/RRI という言葉や概念が多くの社会心理学者にとってはなじみがない状況にあること、さらには、我々が持つ知見や方法論が、他分野との協働研究の中で健全に用いられる必要があることを踏まえると、ELSI/RRI とは何か、また、この概念を巡る議論の歴史や関連する動向について、社会心理学コミュニティが理解したうえで、議論を深める必要があるのではないのでしょうか。

本ワークショップでは、ELSI/RRI を巡る学術的動向や官・産における動向、ELSI/RRI 研究に社会心理学が携わることで生まれる新たな展開、知見・方法論の用いられ方に関する問題点、企画者が関わるプログラムでの具体的なフ

ァンディングの可能性の紹介などを中心に話題提供を行います。指定討論では、提示された論点について、批判的な検討を行います。これらを通して、社会心理学が「人・社会・科学技術のあるべき関係」に関する議論にどう関わり貢献していくのか、その可能性を探ります。

**【問い合わせ先】**

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）

社会技術研究開発センター（RISTEX）

ELSI プログラム事務局

E-mail： ristex-elsi\*jst.go.jp（\*を@に変更）